

看護部長通信 令和元年 5 月号

当院に就職して、おかげさまで 2 年目を迎えることになりました。今年も病院の発展に貢献できるよう精一杯力を結集し、躍動する 1 年にしたいと思います。

さて、本年は病院の方針において、現在の一般病棟の一部を地域包括ケア病床に編成するということが打ち出されましたので、看護部として全面的な協力をしなければならないと思っています。当院は、在宅復帰率が常に 7 割を超えており、居宅系の施設の方を積極的に受け入れ、早い段階での在宅に向けての支援を進めていますが、更なる支援を行うこととなります。当院のソーシャルワーカーは柔軟に機能していますので、今以上の飛躍を期待しています。

今年度の看護部の理念は、「私たちは、あたたかい心で誠実な対応のできる看護を提供する」とします。看護部の目標については、昨年と同様、引き続き達成できるように今年度は具体策をきちんと掲げていくこととします。

目標の 1 番目は、「患者、家族を尊重した適切な看護、介護サービスを提供する」とします。具体的には、患者様、ご家族様が安心して利用いただけるような地域包括ケア病棟のシステムづくりを構築します。2 番目は、「医療安全と感染管理に着目し、効果的な業務遂行する」とします。当院には感染管理認定看護師が在籍していますので、教育と実践をうまく融合させ、患者満足度につなげたいと考えています。3 番目は、「専門職業人として自己研鑽に励み、能力の向上に努める」とします。看護の質向上並びに看護の振り返りをする機会を看護師ひとり一人が実感し、いい看護サービスを提供したいと考えており、今年 7 月から看護学生の実習受け入れを病棟でも行うようにします。また、看護研究の取り組みがなかったので、活動を始めていきたいと考えています。4 番目は、「病院経営に参画し協力する」とします。各部署の在庫の物品管理が的確にできていないので、常に整理整頓を心がけ、必要最低限度の物品購入を行い、一人ひとりがコスト意識をもつようにしてコスト削減に貢献していきたいと思っています。

天皇交代に伴う新元号が令和となりました。大きな波が起こる年となりますが、希望の光が感じられる年でもあります。目前にある課題についてチーム力を大いに発揮し、個の力をあらゆることへ結集していきたいと思っています。

「為せば成る、何事も」ということわざを胸に刻みつつ、本格始動していきますので、皆様のご協力をお願いします。

令和元年 5 月 1 日

看護部長 伊藤 節美